

公益財団法人 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団

代表理事 松村 孝夫

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目8番4号 大阪科学技術センタービル607号室

TEL:06-7506-9068 FAX:06-7506-9069

ホームページ <https://www.krf.or.jp/> E-mail info@krf.or.jp

目次

P1. 第37回理事会を開催

P2. 2025年度助成対象一覧

P5. 財団役員、評議員、選考委員

P6. KRFからのお知らせ

1 第37回理事会を開催

2025年12月11日、第37回理事会を開催し、
審議のうえ、研究助成の助成対象と、2026年度助成事業計画を
以下のとおり決定しました。

研究助成の助成対象を決定

2025年度研究助成には、41件の応募を頂戴しました。

選考委員会における選考を経て、理事会での審議の結果、2025年度の助成対象として、17件、助成金総額1,659万円を決定しました。

エネルギー・リサイクル分野は、太陽光発電パネル上の粒子除去、CO₂・水素地下同時貯留の評価、二次電池電極材料の創出・創成、各種デバイス材料の開発等、13件(1,273万円)です。

総合防災科学分野は、緊急地震速報の高精度化、水田がもつ自然災害緩和機能の評価等、4件(386万円)です。

今回決定した研究助成と、既に決定している国際交流活動助成他を合わせた、2025年度の助成事業は、助成総数30件、助成金総額2,014万1千円となります(応募総数は81件)。財団設立以降34年間の助成金総額は、約10億9,617万円となります。

今回決定した研究助成対象の17件の皆さまに対し、2026年3月24日(火)に第34回助成金贈呈式を開催いたします。

2026年度助成事業計画を決定

2026年度の助成事業は、①研究助成、②国際交流活動助成(研究者海外渡航、海外研究者招聘)、③研究成果の出版助成、④研究発表会等の開催助成の4分野で行います。

助成規模は、助成件数39件、助成金総額2,100万円です。

応募資格に年齢制限は設けません。ただし、若手研究者(概ね40歳以下)および研究歴の短い研究者(概ね研究歴10年未満)を主要助成対象として実施します。

新型コロナウイルスが流行する可能性等を考慮し、国際交流活動助成(研究者海外渡航)および研究発表会等の開催助成では、2026年度も、オンラインで開催する国際会議等を助成対象とします。

お申込みは、電子申請システムをご利用ください。

詳しい助成内容、応募要領等は、本誌6ページおよび財団ホームページをご覧ください。

(<https://www.krf.or.jp>)

2 2025年度助成対象一覧

2025年度の助成総計は、30件、20,141千円です。

1. エネルギー・リサイクル分野(24件:15,920千円)

(1) 研究助成(13件:12,730千円)

(単位:千円)

研究者	研究題目	助成額
高島 弘 奈良女子大学 研究院自然科学系化学領域 准教授	分子内エキシマー形成を利用した高水準有機円偏光発光材料の開発	1,000
辻本 尚大 神戸大学 大学院工学研究科 応用化学専攻 助教	黒鉛／アルカリ金属フッ化物複合電極における高容量炭素正極の創成	970
小林 和弥 京都大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 助教	多成分流体シミュレーションによるCO ₂ ・水素地下同時貯留の評価	1,000
津留崎 陽大 大阪公立大学 大学院理学研究科 化学専攻 准教授	ホスファベンゾヘプタレン骨格を有する発光性材料の開発	970
秋山 吾篤 神戸大学 大学院工学研究科 応用化学専攻 テニユアトラック助教	強誘電分子集合体の可視光吸収によるバルク光起電力効果の発電効率向上	970
高津 浩 京都大学 工学研究科 物質エネルギー化学 准教授	電場制御で拓く複合アニオン機能性材料	970
安達 眞聡 京都大学 大学院工学研究科 機械理工学専攻 准教授	非接触型磁気式クリーニングシステムを利用した太陽光発電パネル上の粒子除去	1,000
中村 彰太郎 大阪大学 大学院工学研究科 応用化学専攻 助教	大環状分子による柔軟な水素結合有機骨格を利用した分子吸着技術の開発	970
桶谷 龍成 大阪大学 大学院基礎工学研究科 物質創成専攻 助教	ダイヤモンドアンビルセルを用いた重合反応による高密度 π 共役構造体の合成	970
加藤 真一郎 大阪公立大学 大学院工学研究科 物質化学生命系専攻 応用化学分野 准教授	近赤外カチオン性ジラジカル色素による多機能性光エネルギー材料の創出	970
小川 敬也 京都大学 エネルギー科学研究科 エネルギー社会・環境科学専攻 准教授	水・電気・アンモニア・肥料の同時生産による高効率化とインドへの適用可能性調査	970
若松 勝洋 関西学院大学 物質工学課程 研究特別任期制助教	高エネルギー密度化に向けた多孔性有機材料を基盤とする高電圧二次電池電極材料の創出	970

(単位:千円)

研究者	研究題目	助成額
孫 一帆 京都大学 複合原子力科学研究所 助教	データ駆動によるスクッテルライトの最適組成探索と熱電変換性能の向上	1,000

(2) 第2回国際交流活動[研究者海外渡航]の助成(4件:900千円)

(単位:千円)

研究者	渡航目的	渡航先	助成額
金 東昱 京都大学 工学研究科 物質エネルギー化学 特定研究員	アメリカ材料学会への出席・発表	ボストン (アメリカ)	300
森本 勝大 富山大学 学術研究部工学系 電気電子工学専攻 准教授	アメリカ材料学会への成果報告	ハワイ (アメリカ)	200
雨宮 祐馬 大阪大学 大学院工学研究科 マテリアル生産科学専攻 博士後期課程1年	環太平洋国際化学会議2025での研究成果発表	ハワイ (アメリカ)	200
小川 敏史 大阪大学 大学院工学研究科 応用化学専攻 博士後期課程3年	環太平洋国際化学会議2025での研究成果発表	ハワイ (アメリカ)	200

(3) 第2回研究発表会等の開催助成(2件:800千円)

(単位:千円)

研究者	会議名称	助成額
大下 和徹 京都大学 工学研究科 都市環境工学専攻 准教授	第19回IWA 汚泥管理に関する国際会議の開催	400
佐川 尚 京都大学 エネルギー科学研究科 エネルギー基礎科学専攻 教授	第10回エネルギー科学に関する京都・亞洲・浙江合同シンポジウムの開催	400

※第1回国際交流活動[研究者海外渡航]の助成と第1回研究発表会等の開催助成は、KRFレポートNo.44(2025年5月)掲載のとおり、合わせて5件、1,500千円で助成金交付を決定しました。その後、第1回国際交流活動[研究者海外渡航]で返金10千円があり、合わせて5件、1,490千円になりました。

2. 総合防災科学分野(6件:4,221千円)**(1) 研究助成(4件:3,860千円)**

(単位:千円)

研究者	研究題目	助成額
生田 英輔 大阪公立大学 都市科学・防災研究センター 教授	木造密集市街地における地域主体の感震ブレイカー設置支援事業の実態調査	970
中桐 貴生 大阪公立大学 大学院農学研究科 緑地環境科学専攻 准教授	水の酸素・水素安定同位体比を用いた水田がもつ自然災害緩和機能の評価に関する研究	970
山田 真澄 京都大学 防災研究所 准教授	地震活動の変化を考慮した緊急地震速報の高精度化	960

研究者	研究題目	助成額
岩井 裕正 京都大学 大学院工学研究科 都市社会工学専攻 准教授	海底地すべりによる津波発生とポスト地すべりに注目した 深海水産資源へのダメージ評価	960

(2) 第2回国際交流活動[研究者海外渡航]の助成(2件:361千円)

(単位:千円)

研究者	渡航目的	渡航先	助成額
稲益 博行 京都大学 工学研究科 建築学 講師	第13回国際鋼構造シンポジウム・ 第14回環太平洋鋼構造会議の 合同会議への参加・発表	済州島 (韓国)	200
内山 志保 大阪大学 人間科学研究科 人間科学専攻 博士後期課程3年	第15回International Conference of IDRiM Societyへの参加・発表	サモス (ギリシャ)	161

□過去の助成実績

年度	研究助成		国際交流活動助成		研究成果の出版助成		研究発表会等の開催助成	
	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野
1992年度～ 2015年度	401	125	310	30	40	1	134	20
2016年度	18	4	11	0	1	0	5	1
2017年度	18	2	5	0	1	0	2	0
2018年度	16	1	11	2	1	0	7	0
2019年度	15	4	9	3	0	1	5	1
2020年度	19	3	0	0	1	0	1	0
2021年度	16	4	1	0	5	1	1	1
2022年度	16	1	6	2	3	3	3	1
2023年度	15	1	10	2	2	2	3	0
2024年度	15	2	9	1	4	0	3	2
2025年度	13	4	8	2	0	0	3	0
合 計	562件	151件	380件	42件	58件	8件	167件	26件

※総合防災科学分野は、1995年度から助成開始

3 財団役員、評議員、選考委員(2026年1月1日現在)

■代表理事

松村 孝夫 関西電力株式会社 顧問

■業務執行理事

枚田 哲郎 当財団 事務局長 ※

■理事

伊藤 順司 住友電気工業株式会社 顧問・シニアフェロー

大澤 靖治 京都大学 名誉教授

桑畑 進 大阪大学 名誉教授

手塚 哲央 京都大学 名誉教授

松下 義尚 一般財団法人 大阪科学技術センター 専務理事

■監事

川下 清 弁護士

中西 清 公認会計士

■評議員

桑野 理 関西電力株式会社 執行役常務

武内 敬 大阪ガス株式会社 顧問

田中 博文 三菱電機株式会社 研究開発本部 シニアフェロー

西 亨 株式会社阪南コーポレーション 顧問

浜田誠一郎 関西電力株式会社イノベーション推進本部副本部長

鱧谷 貴 公益財団法人 大阪コミュニティ財団 専務理事

光枝 良 株式会社竹中工務店 取締役専務執行役員

■選考委員

【エネルギー・リサイクル分野】

馬場 章夫 大阪大学 名誉教授(委員長)

石原 慶一 京都大学 名誉教授

小川 真人 神戸大学 名誉教授

富山 明男 神戸大学 名誉教授

馬場口 登 大阪大学 名誉教授

森井 孝 京都大学 名誉教授

【総合防災科学分野】

馬場 章夫 大阪大学 名誉教授(委員長)

林 春男 京都大学 名誉教授

(敬称略、※は常勤者)

KRFからのお知らせ

2026年度 助成事業の概要

KRFでは、主として関西地域におけるエネルギー・リサイクル関係技術分野および総合防災科学分野に関する研究活動に対する助成を行っています。

2026年度の助成事業募集内容(1月6日募集開始)は下表の通りです。

助成規模は、助成件数 39件、助成金総額 21,000千円です。

応募資格に年齢制限はありません[ただし、若手研究者(概ね40歳以下)および研究歴の短い研究者(概ね研究歴10年未満)を主要助成対象とします]。

引き続き、国際交流活動助成(研究者海外渡航)および研究発表会等の開催助成では、オンラインで開催する国際会議等についても助成対象とします。

皆さまからの多数のご応募をお待ちしております。

■ 助成種類毎の助成件数

助成種類		研究助成	国際交流活動助成		研究成果の出版助成	研究発表会等の開催助成
			研究者 海外渡航	海外研究者 招聘		
1件当りの助成額		100万円以下	欧州、北米(ハワイを除く)、 中南米は30万円以下、上記 以外は20万円以下	50万円以下	10万円以下	40万円以下
助成件数	エネルギー・ リサイクル分野	12件	6件	2件	7件	4件
	総合防災 科学分野	3件	2件		3件	
申込締切日		2026年 8月31日(月)	第1回：2026年2月28日(土) 第2回：2026年7月31日(金)			

詳細はホームページをご覧ください。 <https://www.krf.or.jp>

■ 申込方法

- 応募要領はホームページからダウンロードできます。
- ホームページより、研究者登録のうえ応募書類をダウンロードし、申請書に必要事項を記入の上、電子申請にてお申込みください(推奨)。ただし、推薦状(研究助成・国際交流活動助成[研究者海外渡航])は、電子申請とは別に、紙面による提出(郵送)も必要です。
- 書面での提出をご希望の方は、申請書1部を財団事務局まで、締切日必着にてご送付願います。

■ 申請書の送付先、お問い合わせは事務局まで

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目8番4号 大阪科学技術センタービル607号室
公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団 事務局
<https://www.krf.or.jp> e-mail : info@krf.or.jp
TEL 06-7506-9068 FAX 06-7506-9069

■ 事務局より

2025年度も、多くの研究者の皆さまからご応募を頂き、助成活動を実施することができました。心より御礼申し上げます。

2026年度助成事業は、1月6日(火)から募集を開始します。多数のご応募をお待ちしております。ご不明な点等ございましたら、お気軽にご連絡いただきますようお願いいたします。

今後も、研究者の皆さまのニーズにお応えすると共に、よりお役に立てる助成活動を目指します。